

新潟県立新発田病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記のお問い合わせ先にお問い合わせください。

①研究課題名	抗 HEV 抗体検査保険収載後における E 型肝炎全国調査 (2012-2017)
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2012 年 1 月から 2017 年 12 月までに当院を含む全国共同研究施設で E 型肝炎/HEV 感染と診断された患者様が対象となります。研究責任者：姜 貞憲（手稲溪仁会病院 消化器病センター）、当院担当：川合 弘一（新潟県立新発田病院内科）。
③概要	2011 年に IgA 型抗 HEV 抗体検査が保険適応になって以来、2012 年以後の感染症法に基づく E 型肝炎の診断後届け出件数は増加の一途をたどっています。全国調査により E 型肝炎の実態解明を目指します。調査事務局である手稲溪仁会病院消化器病センターが中心となり、全国の日本肝臓学会理事・評議員・支部会評議員所属施設のうち外科系・基礎系を除く施設、北海道 E 型肝炎研究会参加施設、北東北肝炎登録システム参加施設が共同研究対象施設として参加予定です。各施設の臨床データを事務局に集積し、解析を行います。
④研究の目的・意義	本研究の目的は、2006 年に行われた E 型肝炎の全国調査結果を再確認すると共に、2011 年から保険適応となった IgA 型抗 HEV 抗体検査により診断された E 型肝炎の実態を明らかにすることです。新たな全国集計では、軽症例や、HEV 感染を契機に発症する acute on chronic liver disease、HEV 感染の肝外病変、免疫抑制剤投与下での小数の慢性 HEV 感染の実態解明も期待されます。
⑤研究期間	倫理委員会による承認後～2020 年 12 月 31 日
⑥情報の利用目的及び利用方法	診療録に保存されている診療データを研究に用います。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、手稲溪仁会病院 消化器病センター内の全国調査事務局にデータを提供、集積、解析します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑦利用または提供する情報の項目	年齢、性別、現病歴、既往歴、死亡情報、治療内容、身体所見、血液検査結果。
⑧利用の範囲	新潟県立新発田病院、手稲溪仁会病院 消化器病センター

◎試料・情報の管理について責任を有する者	川合 弘一（新潟県立新発田病院内科） 姜 貞憲（手稻溪仁会病院 消化器病センター）
⑩お問い合わせ先	新潟県立新発田病院内科 川合 弘一 電話：0254-22-3121